

## 8月 行事予定

- 11日(木・祝日) 山の日
- 13日(土)・15日(月) お盆合同保育
- 19日(金) 避難訓練
- 26日(金) 誕生会
- 31日(水) 8月利用料等引落日

## 欠席連絡フォームについて

<https://forms.gle/k8A8tWbokGWucsRbA>



欠席、遅刻等の連絡の際はこちらをご活用ください。当日朝9時までの送信をお願いします。※年度当初にお知らせしているURLと同じものになります。

## 9月 行事予定

- 8日(木) 歯科検診
- 14日(水) おはなし会
- 16日(金) 誕生会
- 19日(月・祝日) 敬老の日
- 22日(木) 避難訓練
- 23日(金・祝日) 秋分の日
- 29日(木) 運動会予行
- 30日(金) 9月利用料等引落日

※コロナウイルス感染症の拡大により、行事が中止になる場合もあります。ご了承ください。

# さくらんぼ通信

さくらんぼ保育園 園だより No.259

『やってみよう挑戦する気持ち』

令和4年8月1日(月)発行  
 さくらんぼ保育園 園だより  
 桜が丘東2-2-809  
 Tel 995-9071  
 Fax 995-9072

5・6月の“やってみようで～(day)”はサーキットあそびでした。脚立に棒を斜めにくくりつけ、手と足で高這いをしながら登っていくコースや戸板登り、一本橋や斜面登りなど数種類のコースを準備して、やってみたいものに挑戦します。

脚立のそばで見守っていると「やってみよう！」と興味を持った子どもたちが集まってきて順番に並んで遊び始めました。「難しいかな」「できるかな」と手と足を棒にかけるそら組のAさん。初めての経験だったようで登って行くことができず「難しいな」と困った顔。「どうするかな？」と見守っていると、諦めるのではなく何度も挑戦し、手や足をどの様に使えば良いのか自分で考えながら登ろうとする姿がありました。すぐそばで見守っていると、何度もくり返し頑張る姿に「手助けして登らせてあげたい…」という気持ちになります。ぐっと我慢して見守っていると、子どもたちから「ここに手を置くといいよ」「前を見て」と伝え合ったり「頑張って」と自然と応援したりする姿が見られました。できなくても諦めることなく何度も挑戦する姿に、挑戦する子も周りで見ている子もいろいろな力が育っていることを間近に感じることができました。

見守ることで子どもの考える力、挑戦する姿、やり遂げた達成感を感じられる遊びとなり、子どもたちはもちろん見守っていた私たちも学びのある活動となったように思います。毎日のあそびの中で「やってみよう」という気持ちを持ち、考えたり、挑戦したりできるような環境を作っていきたいと思っています。

森川麻美

## 7月の行事報告「そらキャンプ」

国立吉備青少年自然の家へキャンプに行ってきました。天候も雨は降らず、ダムの方まで出かけたり、散歩をしながら松ぼっくりやきれいな葉っぱなどの自然物を拾ったりすることができました。なんとといっても子どもたちの楽しみはレストランと大きなお風呂!“自分のことは自分でしよう”という目標で1泊2日と離れて生活し、1つ大きくなって帰ってきたそら組です。



## さくらんぼ保育園を ちのちもいてみよへつ

### 『プールの水も無駄なく』

気温が高い日が続く、プールあそびが盛り上がっています。思い切り楽しんだ後のプールの水は、ただ流すだけではなく再利用をしています。畑の水やりに使ったり、園庭にまいて体感温度を少しでも下げられるようにしたりと、工夫をしています。節水やSDGsという言葉をよく聞く今、保育園でできることを日々考え取り組んでいます。



## つばやき・エピソード つき組



畑のなすびがたくさん実りました。ある日「せんせ〜、畑に大根があるよ」と子どもたちが言ったのですが…。

あれ?どのクラスも大根は植えてなかったと思うんだけどなあと不思議に思いながらも子どもたちと畑を見にいくと、そこには大根のような白いなすび。つき組なすびは、紫なす・丸なす・白なすを植えています。「これは、白いなすびなんだよ」と伝えると「凄いなあ。大根だと思った」と子どもたちの素直な発言に癒されました。

# くらぐみ



日々の生活の中で、自分たちで物事を決める経験を増やしています。畑のすいかの実がなり大きくなってきました。でも一つの実が鳥につつかれ穴が…。「クラスから食べられないようにするにはどうする？」とみんなで相談をしました。本で調べたり、詳しい職員に聞いたりし、ネットをかけることに。「ネット持つよ」「じゃあ紐持ってね」と声をかけ合いながら一人ひとりが自分にできることを探し、助け合っている姿に成長を感じます。

# はなぐみ



はな組保育室から一步外に出ると、たくさんの子どもたちが「あ、Aちゃんだ」「かわいいなあ」と笑顔で話しかけに来ます。

Bさんが机の側に立っていると「Bちゃんこれ食べて」「これもどうぞ」と大きいクラスの子どもたちによって、あっという間に机の上に玩具のごちそうが並べられます。

たくさんの人に見守られ、たくさんの思いやりを受けながら育てています。

## 保育目標

一人ひとりの子どもを見つめ、集団生活を通して

- 友だちを大切にし、共に育ち合う子
- 生き生きとした元気な子
- 自分で考え行動する子

を育てる

集団の中で、自分のしたいことを主張し、子ども同士の気持ちのぶつかりあいのなかで、一人ひとりが生かされながら、みんなの要求を実現させようと努力する子どもたちが育って行くのだと思います。

## 今月のテーマ

## 集団生活を通して

# ほしぐみ



自分たちより数の少ないとうもろこしを、全員で皮むきするにはどうしたらいいか問いかけると「順番にすればいいんじゃない?」「一人一回剥いたら代わったら?」と返ってきました。自分も友だちもしたいという気持ちは同じ、一緒にするためにはどうすればいいかなと考える子どもたちでした。

# ゆきぐみ



少しずつ、相手にも思いがあることを知り、言葉でのやりとりが増えてきています。バケツにザルを乗せて泥水を入れると水だけがバケツに残ることや、水たまりに陽があたると温泉のように温くなることなど自分で見つけた発見も友だちにも知らせ、「楽しい」「嬉しい」という思いを共有する姿が増えてきました。

# ゆきぐみ



一人ひとりで遊んでいるように見えるものの、横で遊ぶ友だちの姿も見ています。友だちの姿をみて「楽しそう!」と友だちのまねをしたり、姿が刺激となって「わたしも」とやってみたりする中で育ち合っているのだと感じます。

# にじぐみ



まだまだ自分の思いを通したい年齢で、友だちとぶつかることもあります。が、「楽しい」を共有できる時間は特に子どもたちはいい表情をしています。「プール楽しかったね」「また入ろうね」ということも同士のやりとりも聞かれ、そのやりとりに保育者はほっこりとしています。